

## あなたならどうしますか？

～新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別について考えよう！～

## その他の人権問題

### ねらい

新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の現状を理解するとともに、感染の有無に関わらず、互いの人権を尊重していくことの大切さについて考えます。

### 時間

40分

### 準備

#### 主催者

資料①・②・③・④ ワークシート

#### 参加者

筆記用具

### 展開

1 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について関心を高めます。

(1) 資料①をもとに、新聞やニュースで新型コロナウイルス感染症の感染者やその関係者（家族や医療従事者）に対して、人権が守られていないと感じた出来事について想起し、ワークシートに記入します。（参加者の様子を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

2 「なぜ、感染症による偏見や差別が起こり、広がるのか？」について考えます。

(1) 資料②をもとに、過去にもあった主な感染症に関する偏見や差別などを説明します。

(2) 新型コロナウイルス感染症においても同じような現状が見受けられないか参加者に投げかけます。その後、なぜ、感染症による偏見や差別が生まれるのかについてワークシートに記入します。（参加者の様子を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

(3) 資料③をもとに、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることを確認します。

3 「新型コロナウイルス感染症の感染者や関係者（家族や医療従事者等）はどんな不安や悩みを抱えているか？」について考えます。

(1) 自分や家族が感染したらどんな不安や悩みがあるか考え、ワークシートに記入します。（参加者の様子を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

4 資料④をもとに、一人一人の人権が守られるためにはどうしたらよいか、今後、自分ができることや気を付けたいことについて考え、ふりかえりします。

(1) 資料④の4コマ漫画の空欄の吹き出しに入る言葉を考え、記入します。（参加者の様子を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

(2) 今後、自分ができることや気を付けたいことについて、ワークシートに記入します。（数人に発表してもらい、全体で共有する。）

(3) 今後、新たな感染リスクが生じても偏見や差別意識を生まないことの大切さを伝えます。

## ファシリテーターの言葉かけ例（留意点）

### 展開1 5分

はじめに、資料①を御覧ください。イラストの中で気になるところや人権が守られていないと思うところはありませんか。他にも、新聞やニュースで新型コロナウイルス感染者やその関係者に対して人権が守られていないと感じた出来事がありましたか。思い出したことをワークシートに記入しましょう。（参加者の意見を見て回り、感染者宅に投石や落書き、県外ナンバーの車に投石やおおり運転、医療従事者の子どもが保育所から登園拒否、部活動での集団感染による誹謗中傷が SNS で拡散など、意見をまとめて紹介し、共有する。）

### 展開2 15分

次に、「なぜ、感染症による偏見や差別が起こり、広がるのか？」について考えてみましょう。資料②を御覧ください。感染症については、過去においても患者・元患者に対して偏見や差別がありました。今回の新型コロナウイルス感染症においても人権が侵害されている事例が起きています。とちまるくんの吹き出しに注目してみましょう。

では、なぜ、このような感染症による偏見や差別が起こり、広がってしまうのでしょうか。自分の考えをワークシートに記入してみましょう。（参加者の意見を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

資料③を御覧ください。新型コロナウイルス感染症については、まだ分からないことが多いため、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながると言われています。そして、不安をあおることは病気に対する偏見や差別を強めます。病気に対する偏見や差別をなくすためには、病気について正しく知ること、正しく恐れることが大切です。

### 展開3 10分

もし、あなたやあなたの家族が新型コロナウイルス感染症に感染したら、どんな不安や悩みが出てくるとお思いますか。ワークシートに記入しましょう。（参加者の意見を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

国立成育医療研究センターが行った「コロナ×こどもアンケート第2回調査」では、7～17歳の子ども約3割が「自分や家族が感染しても秘密にしたい」と回答しています。感染したことを責められるのではないかとこの恐れがあったのでしょうか。感染してしまった人はもちろん、その関係者も大変な思いをされています。

### 展開4 10分

資料④は、4コマ漫画をとおして新型コロナウイルス感染症と人権について考えるヒントとなる内容になっています。母親は息子にどんな言葉をかけたでしょうか。空欄の吹き出しに入る言葉を考えましょう。（参加者の意見を見て回り、意見をまとめて紹介し、共有する。）

誰もが新型コロナウイルス感染症に感染する可能性があります。一人一人の人権が守られるために、今後、自分ができることや気を付けたいことについて、ワークシートに記入してみましょう。（様子を見て）どなたか発表していただけますか。

今後、新たな感染リスクが生じても偏見や差別意識を生まないこと、そして正しく恐れることが大切です。ぜひ、今日の気づきをこれからの生活で生かすことができるといいですね。

～新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別について考えよう！～

- 1 新聞やニュースで新型コロナウイルス感染症の感染者やその関係者（家族や医療従事者等）に対して、人権が守られていないと感じた出来事がありましたか。思い出したことを書いてみましょう。

- 2 なぜ、感染症による偏見や差別が起こり広がるのか、あなたの考えを書いてみましょう。

- 3 自分や家族が新型コロナウイルス感染症に感染したら、どんな不安や悩みが出てくるか、あなたの考えを書いてみましょう。

- 4 新型コロナウイルス感染症の感染者やその関係者（家族や医療従事者等）を支えていくために、今後、あなたができることや気をつけたいことはどんなことですか？



## 資料①

あなたの周囲で、こんな光景はありませんか？



出典：「日本赤十字社：赤十字 NEWS 4月号」

### 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の事例

- 感染者の自宅に石が投げ込まれてガラスが割られたり、壁に落書きをされたりした。県外ナンバーの車に対して、暴言やあおり運転、投石があった。
- 高等学校の部活動の寮を中心に100人以上が感染するクラスター（感染者集団）が発生した。SNS上で「マスクも着けずコロナをばらまいている。」との中傷が生徒の写真とともに拡散された。
- 集団感染が発覚した大学では、脅迫の電話やメールが寄せられた。学生がアルバイトの出勤を拒否されたり、教育実習を断られたりした。また、職員の家族が子どもの保育を断られる被害も出た。

参考：内閣官房 HP「偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ」

## 過去にもあった主な感染症に関する偏見や差別の事例

### HIV 感染症、エイズ

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症は、進行性の免疫機能障害を特徴とする疾患であり、このウイルスによって身体の免疫機能を侵される病気のことをエイズといいます。感染経路が特定している上、感染力も弱いことから正しい知識に基づいて通常の日常生活を送る限り感染を恐れる心配はありません。

#### 【偏見や差別の事例】

医療の現場で診療の拒否、会社の健康診断で本人の同意なく感染の有無を検査しプライバシーを侵害

### ハンセン病

ハンセン病は、「らい菌」に感染することで起こる病気です。手足などの末梢神経が麻痺したり皮膚に様々な変化が起こったりします。感染力は極めて弱く、発病した場合であっても、現在では、治療方法が確立し、適切な治療により完治できます。また、遺伝病ではないことも判明しています。

#### 【偏見や差別の事例】

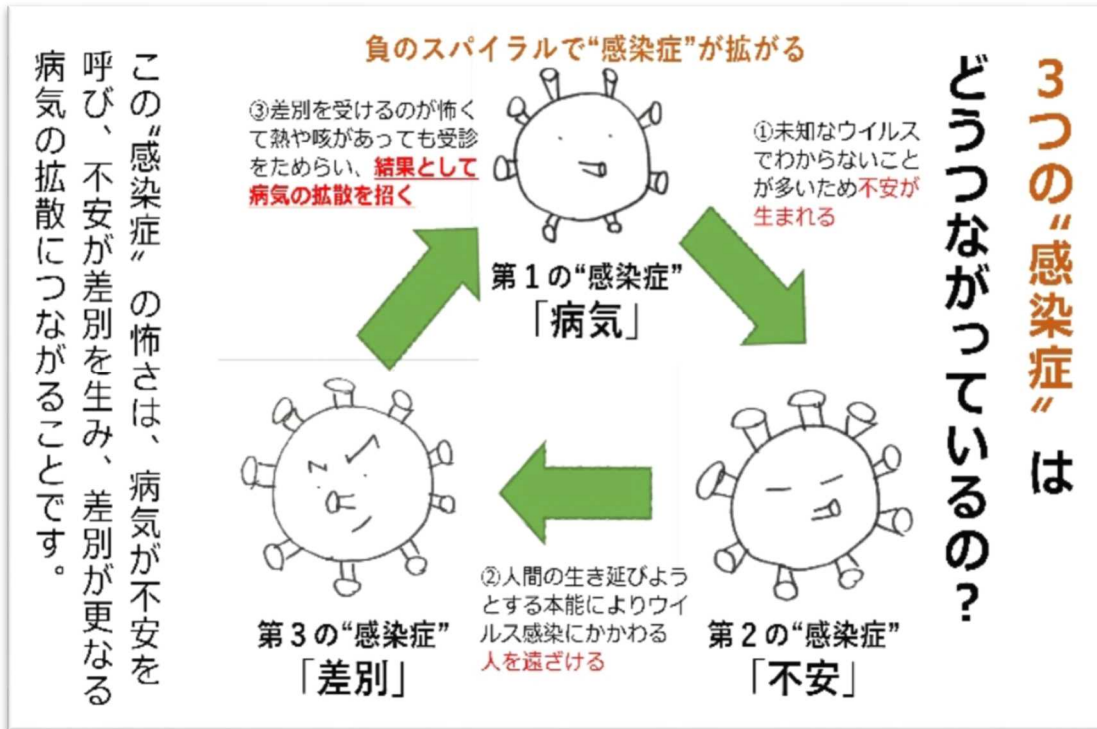
療養所に強制隔離、日常生活、職場における差別やプライバシーの侵害

## 【 ～感染症に関する偏見や差別の歴史から～ 】



感染症に関する偏見や差別の歴史を振り返ると、偏見や差別が起こる原因に共通点がありそうまる。

なぜ、感染症による偏見や差別が起こり、広がるのでしょうか？



出典：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より

## 考えよう！新型コロナウイルス感染症と人権

あなた自身をはじめ、家族や友人など、身近な人がいつ感染しても不思議ではない状況にあります。そうした中、一人一人の人権が守られるためにはどうしたらよいか、下の4コマ漫画を参考に考えてみましょう。



【作成協力: 矢板東高等学校・美術部】

誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。いわゆる「3つの密（密閉、密集、密接）」を避け、こまめな手洗い・うがいを行うなど感染防止に取り組みましょう。また、感染者やその関係者などへの誹謗や中傷をしない、プライバシーを守るなど人権に配慮した行動を心がけましょう。